

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科 レコーディングエンジニア専攻											
実習・演習3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	180	単位	6
担当教員	新保・栃木			実務 経験	有	職種	レコーディングエンジニア				
授業概要											
専攻別にわかれた実習制作を行います。											
到達目標											
マイクروفオンの適切な使い方をマスターする。現場さながらのスタジオワークを通して、準備、セッティング、チェック、音作り、レコーディング、オーバーダビング、ミックスといった様々な項目をグループワークを通して、各々の役割も把握する。またエンジニア以外のスタッフ、ミュージシャンとも適切なコミュニケーションが取れる。楽器やアーティストの声を聞き分けて適切なエフェクト処理を行い、ミックスを完成させる。											
授業方法											
演習においては講義形式でスタジオ機器、スタジオワーク、音作りについて学ぶ。スタジオワーク授業回によってアーティストとともに実習する。その際はアーティストの立場や作りたい音をよく考え、アーティストに信頼されるエンジニアになるための姿勢も学ぶ。											
成績評価方法											
実習参加度、レポート、作品提出											
履修上の注意											
この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
音響映像設備マニュアル、適時プリントを配布する。											
回数	授業計画										
第1回	演習：エンジニアの知識確認電気、様々なオーディオフォーマット、PC関連の知識がわかる。										
第2回	マイクروفオンの確認学内にあるマイクروفオンの機能と種類がわかる。										
第3回	演習：アナログ卓復習アナログ卓（SSLのブロックダイアグラムを理解）が使える。										

実習・演習 3

第4回	ドラムのサンプリング音源をつくる様々なマイク、セッティングにより、単音を収録できる。
第5回	アナログ卓復習スタジオのアナログ卓の操作方法について復習し、操作できる
第6回	アナログ卓復習スタジオのアナログ卓の操作方法について復習し、操作できる2
第7回	演習：マイクロフォンの紹介マイクロフォンのメーカー、代表的なマイクがわかる。
第8回	ジャズバンドの録音
第9回	ジャズバンドの録音：ダビング
第10回	演習：アーティストの立場を研究スタジオ、ライブ、パートごとのモニターの目的がわかる。
第11回	ドラムとピアノに合わせたメーカー別、目的別に班分け、自分のベストセッティングができる。
第12回	リズムセッティング1バンドレコーディングのセッティングがスムーズにできる
第13回	演習：バンドセッティングいくつかのバンド編成をもとに回線図、準備図を書ける。
第14回	アーティストの立場を研究モニターの研究。アーティストに合わせたモニターづくりができる。
第15回	リズムセッティング2セッティングと回線チェックが素早く、正確にできる